

季刊ワイナート イタリア・トスカーナ特集

WInart

Autumn

12

Quarterly Magazine 2001 Number
<http://www.bijutsu.co.jp>

イタリア
ワインが
面白い
パート1

特集やっぱり トスカーナは 凄かった!

トスカーナの
スーパー・ワイン
3品種を
レストランで楽しむ

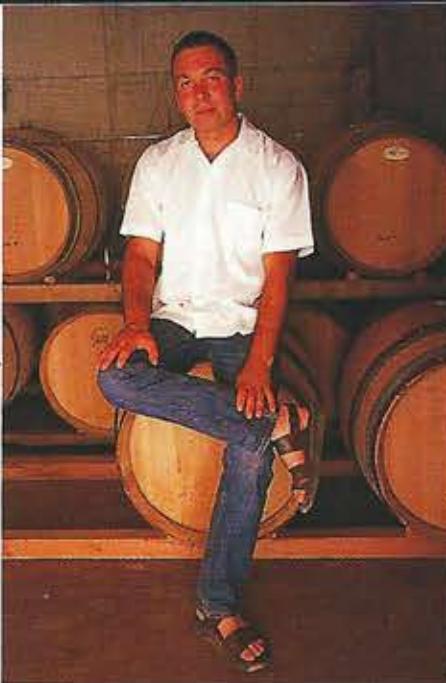


次世代トスカーナ、
キャンティ・クラッシコ、
トスカーナの白、
その他の地域
テイスティング

463本

初ヴィンテージから 恐るべき違いを見せる マレンマ地区の 最先端ワイン

Photos by Winart



数年間という短い間に、それまで地味な白ワインを造る以外は荒れ地ばかりだったスヴェラートの土地は、トスカーナで最も注目を集めている。ワイン産地へと変貌した。その動きの先端にいるのが、トウア・リータの斜面の上に位置するモンテペローザである。

20年間で4回オーナーが変わり、はじめのふたりは亡くなつたといふあまり縁起がよくなさそうなワインナリーだが、それにしてもトス

カーナというよりカリフォルニアのベニス・ビーチにあるサーファーの家のよう。イームズの椅子もカリフォルニアっぽい。訪問した時など疊だというのにダンス音楽が大量で流れている。しばらくすると、オーナーのファビオ・キャレロットさんが「忙しくて昨日は寝てないんだよ。だから音楽を聞いて寛いでたんだ」と、目をこすりながらのつそりと現れた。

イス人であるキャレロッ

トさんは、カトリックの歴史を研究していたのだ

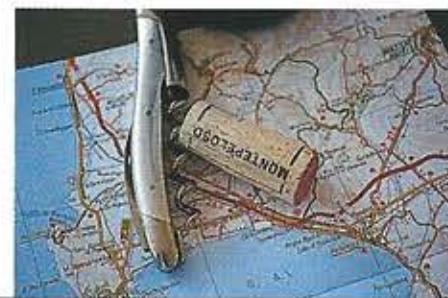
が、「研究助成金を集める苦労にはとほど嫌気がさして、これからはワインを造ろう」と思い、99年にこのワイナリーを買った。エノロゴを勤めるルカ・ダットーマによれば、「彼は商売を考えていらない。とにかく情熱をもつて最高のワインを造ろうとしている。それが



カベルネの畠。粘土、砂、泥土が3分の1ずつという土壤。元々は6haで、新たに5.5haを整地した。そこに植える品種は秘密のこと。

モンテペローザ

Montepeloso



オーナーのファビオ・キャレロットさん(写真上)。家の脇にある小さな梅熟成庫で。写真下はワイナリーの外観。中庭に香気なビザ焼き釜が設えてあるこの家を、しかし誰がワイナリーと見るだろうか。

98 年の収穫1カ月前にこの地にやってきて、前のオーナーと少し仕事をしただけだというのに、彼にとつてのはじめてのワインである99年のモンテペローザは、並の人間では一生かかるかも到達できない、次元が異なる完成度の高さを見せつける。特にカベルネ・ブレンドのガップロ。「レディガツフィは有名だけど、この土地はメルロには暑すぎると、カベルネこそが適合する。それにメルロはシンプルすぎるから、カベルネこそが適合する。それにもメルロはシンプルすぎるし、熟成可能性に疑問があるから好きじゃない。僕はエレガントなワインがいい」と言うだけあり、

ワインを生産、瓶詰めしたのは前オーナーがはじめてで、それは白ワインの93年もの。94年に、S gとCSのブレンドであるナルドが登場し、97年にガップロが造られる。99年が現オーナーの元での初ヴィンテージだ。ガップロのカベルネは、トスカーナとしては20年と高い樹齢。28度と低めの温度でさらっと発酵、マセラシオン。フリーランのみ使用。ノン・フィルターで瓶詰め。



もともとは白ワインの土地だったスヴェラートは、93~94年頃に急に赤ワインで有名になった。おかげで何も考へないでブドウ品種を植える人が多い。



トスカーナのスーパー・ワイン ベスト

テイスティングした中から、比較的市場に出回っている'97ヴィンテージ以降のものを選んで順位をつけました(輸入元表記のない商品は現地試飲もしくは個人所有の参考品)。

サンジョヴェーゼ

Sangiovese

Best 1



Score
96

ペルカルロ 1997
サン・ジュースト・ア・レンテンナーノ
Percarlo 1997 San Giusto a Rentennano

清潔な気品を保ってなお長い妖艶な味わいの快楽。おいしい。
おいしきる。サンジョヴェーゼでここまでリッチに、ここまで大きく、
ここまでセクシーになるのか。

Best 1

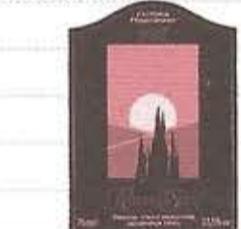


Score
96

テヌータ・ディ・ヴァルジャーノ 1999
Tenuta di Valgiano 1999 Tenuta di Valgiano

信じがたく大きく、濃厚で、深い。サンジョヴェーゼのもつ清潔な
緊密感を最大限に發揮しつつ、神経質さや固さがなく、余裕の
笑顔で構える、眩しいばかりの存在感。

Best 2



Score
95

ロッソ・ディ・セーラ 1998
ポッジョ・ピアーノ

Rosso di Sera 1998 Poggio Piano

4,200円／吟奏の会ワイン俱楽部・土浦錦木屋

尊大なまでに堂々として揺らぐことない果実の密なパワーが最
初から最後まで貫く、敬服すべき見事なワイン。ワイルドでいて
知的という驚くべき完成度に達している。

Score

94 ペッキア 1999 ガッリオレ
Pecchia 1999 Gagliole

94 プーロ・サンゲ 1997 リヴェルナーノ
Puro Sangue 1997 Liverano

94 リーパ・デッレ・モーレ 1997 カステッロ・ヴィッチャオマッジオ
Ripa delle More 1997 Castello Vicchiamaggio

メルロ

Best 1



Score
97

ラ・リコルマ 1998
サン・ジュースト・ア・レンテンナーノ
La Ricolma 1998 San Giusto a Rentennano

次々と新しい表情を見せるような、連綿と湧き出て尽き
ない奥行きに、時間を忘れる。ジューシーに甘い果実
すべてを包み込んで優しく、泣けるほどおいしい。

Best 1



Score
97

メッソリオ 1997

レ・マッキオーレ

Messorio 1997 Le Macchiole
14,000円／モトックス

爆発しそうなほどのアルコール分とあまりに濃厚なエキス
易として逃げ出したくなるがそれでもなお抵抗できない
異なる魅力。万人が必須とすべきワインの芸術体験。

Best 2



Score
96

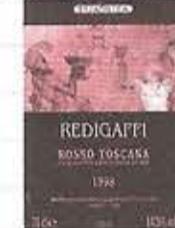
マッセート 1997

テヌータ・デル・オルネライア

Massetto 1997 Tenuta dell'Ornellaia

現代のワインの典型として、すべてのツボを押された全
成度に、誰しも素直に納得するはず。マッセートとして
に滑らかな質感。

Best 2



Score
96

レディガッフィ 1999

トウア・リータ

Redigaffi 1999 Tua Rita

とてもソフトで、まったく抵抗感も圧迫感もないおいしさ
とパワフルで、非常に凝縮感のある味わい。堅苦しくして
くワインの余韻は延々と続く陶酔を生む。

カベルネ・ソーヴィニヨン

Cabernet Sauvignon

Best 1



Score
99

テヌータ・ディ・トリノーロ 1999
Tenuta di Trinoro 1999 Tenuta di Trinoro

空前絶後のトスカーナ。異様に高いアルコールをものともしない
恐るべき果実の力が口の中に粘りついで離れない。ヘビーだが
軽やかで、狂っているが崇高に上品という、真の芸術作品だ。

Best 2



Score
96

ガッブロ 1999

モンテペローゾ
Gabbro 1999 Montepeloso

確信に満ちたパワーと、搖るぎなく堅牢な密度の高い構造と、さ
らりとクールに知的な性格が、高い次元でバランスする、滅多に
見られない程の完成度。

Best 2



Score
96

ルピカイア・ロッソ 1998

キャステロ・デル・テリッティオ
Lupicaia Rosso 1998 Castello del Terriccio

13,000円／中島童商店

鍛えられた筋肉の鮮やかな表現力。知的に統御された構成の
奥行き。すべてが整然としつつも秘められた熟気が伝わるよう、
見事に凝縮されたワイン。

Score

94 レ・スタンツェ 1998 ポリツィアーノ
Le Stanze 1998 Poliziano 5,500円／オーデックス・ジャパン

94 ヴィーニャ・ダルチェオ 1998 カステッロ・ディ・ランポーラ
Vigna d'Alceo 1998 Castello dei Rampolla

その他の赤ワイン

Other Red

Best 1



Score
94

スクリオ 1997

レ・マッキオーレ

Scrio 1997 Le Macchiole
11,000円／モトックス

少し単調とも見える。それでも恐るべき凝縮度をもつて
体じゅうを熱くする力の前では、ひたすらおいしく飲む
しかない。

Best 2



Score
93

チンチナート 1999

テヌータ・ディ・トリノーロ

Cincinnato 1999 Tenuta di Trinoro

優しいタンニンとマンゴーでクリーミーで厚い酸。高アロマ
フルーティに甘いスパイス入りザクロジュースの美しさ。
事に強固なグリップに長大な余韻。

Best 2



Score
93

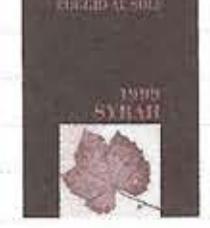
ポデーレ・イル・ボスコ 1997

ルイジ・ダレッサンドロ

Podere il Bosco 1997 Luigi d'Alessandro
5,000円／フードライナー

安定感がある大きなアタックから続く、堂々と口の中を走
る。グラに富んだ果実の凝縮度。ヒリヒリとさせるタンニン
と鮮烈な酸をもちつつ、エレガントにまとまる。

Best 3



Score
91

シラー 1999

ポッジョ・アル・ソーレ

Sciro 1997 Poggio Al Sole
4,600円／中島童商店

濃密なジャムな甘さをもつコクに、グドさを感じさせ
タンニン、酸とともにしっかりして、緊密な構造ゆえに全て
になって、長い余韻まで続く。

トスカーナ・スーパー・ワイン・テイスティング 217

Super Wines of Tuscany Tasting

Saeculum 1997 Tenuta di Riseccoli

サエクルム

1997

テヌータ・ディ・リセッコリ

91



少しオークが浮き気味で、過熟的に緩ぎのあるチェリー的な味があるものの、甘さだけに偏らない強酸なミネラルを感じる香りと味わいは、どこか気品が深い、納得させられる。これだけの甘さでありながらもボケないミディアム・ボディは、適度な酸と細かいタンニンを伴い、きちんと整った高級感溢れる印象があり、余韻も崩れずに長い。飲み頃:Now~2015
(田中) Sg50%、CS40%、M10%

Avvoltore della Maremma Toscana 1998 Moris Farm

アヴォルトーレ・デッラ・マレンマ・トスカーナ

1998

モリス・ファーム

91



乾いた土っぽさとミントっぽさに、うねるようにパワフルな、熟したブラックベリーやブルーベーンやスパイズやクラッシュド・レッドペパーの香り。少し目立つオーク。とても強いタンニンに厚みがあつてしっかりした酸が気持ち良く引き締める果実の密な甘さ。あまり洗練度はないが、ミッド・レットに感じるガツのある前向きな性格がよく、余韻も長い。飲み頃:2003~2014
(田中) Sg75%、CS20%、Sy5% フードライナー 5,000円(A)

Cetinaia 1995 Castello di San Polo in Rosso

チエッティナイア

1995

カステッロ・ディ・サン・ポロ・イン・ロッソ

91



Crognolo 1999 Tenuta Sette Ponti

クロニヨーロ

1999

テヌータ・セッテ・ポンティ

91



どっしりと安定した納得のワイン。コゲの強いオークが邪魔で、バランスを逸しているものの、それ以外は見事な完成度。凝縮感の高い素晴らしい果実が、清潔で濃密な甘さを放射し、イキイキとおいしく、余韻も長い。ミッド・レットの充実度と広がりはサンジョヴェゼとして傑出している。知的で高密度な黒い果実やスパイズ、花、ハーブの香り。飲み頃:2004~2015(田中)

I Balzini 1996 Filippetti & D'Isanto

イ・バルツィーニ

1996

フィリッピティ&ディサンント

91



スミレ、ラズベリージャム、カシス、スパイズの、とても鮮やかで目の詰まった香り。豊かで甘く、コクがあり、若々しく前に出て、わかりやすくパワフルな味わい。それほど滑らかではないし、緻密さもないが、それでも低い酸とスパイシーさのアシストができる、剛らかに大きいおいしさは、やめられない魅力に溢れ、甘いオークも効果的だ。飲み頃:Now~2015(田中) Sg, CF, CS

Nardo 1999 Montepeloso

ナルド

1999

モンテペローゾ

91



洗練の技よりも真っ直ぐな力を感じる、恐れなく抽出したガツのある味わい。ブルーティに偏らずにサンジョヴェゼならではの強酸なグリップを前面に出した、タイトに筋肉質なつくり。熟したブラックベリーやカシスのジャムやスパイズに、ふと古典的ラザフォードの如くダステでミンチな、土に直結したような重い香り。余韻は少し長いが長い。飲み頃:2004~2017(田中) Sg90%、CS10%

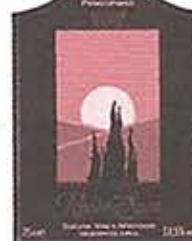
Rosso di Sera 1997 Poggio Piano

ロッソ・ディ・セーラ

1997

ポッジョ・ピアーノ

91



芳いのあるチェリー、ブラックプラム、クローブ、黒コショウの非常にスパイシーさの強い香り。何か自信に満ちたパワーがまっすぐに伝わってくるかのよう、わき目をふらない若々しい味わい。しっかりした清潔な酸と、切れ味鋭いタンニンに、甘さが少なくともリッチさのある果実味。ミッド・レットの若干の緩さと、余韻の表情の単調さが難点。飲み頃:2003~2014(田中) Sg、コロリーノ

Sa' Etta 1999 Monte Bernardi

サエッタ

1999

モンテ・ベルナルディ

91



過熟ギリギリの甘さを感じるコクと力の高密度な果実のストレートな魅力が、強めのオークにもかかわらず、無用な色付けに邪魔されることなく伝わってくる、純粹に楽しめるおしゃれなブラックベリー、ブルーベリー、スパイズの香り。ドスンと流れおちて胃が熱くなるような回答無用の若さがありつつ、不思議な育ちのよさと妖艶さをふと覗かせ、おもしろい。飲み頃:Now~2012(田中)

Flaccianello 1997 Fontodi

フラッチャネッロ

1997

フォントーディ

90



穏やかな気配に包まれた高めの酸と長い余韻が気高い、古典的な完成度と最初は見えるが、滑らかでなく豊かでない質感、ふと見せる神経質さ、余韻に残る青さとゲミーさといったある種の汚れが浮き上がり、むしろ複雑で人間的な魅力として好ましく映る。黒オリーブ、タール、血、ドライフラワー、ブルーベリー、肉のジュの熟れた感のある香り。飲み頃:Now~2014(田中)

Flaccianello 1997 Fontodi

90

